

二〇二五年度法科大学院入学試験問題

小論文

注意事項

- I 試験開始の指示があるまで問題用紙を開いてはいけません。
- II 解答用紙は一枚配付します。
- III 解答にあたっては、黒インクのボールペンまたは万年筆のいずれかを使用してください（ただし、インクがプラスチック製消しゴムで消せないものに限ります）。それ以外で解答用紙に記入した場合は、無効とします。また、解答用紙欄外へ記入されているものは採点の対象としません。
- IV 解答を訂正するときは、訂正部分が数行にわたる場合は斜線で、一行の場合には横線で消して、その次のマス目から書き直してください（余白には書かないで下さい）。修正液・修正テープを使用してはいけません。
- V 解答は横書きで記入してください。
- VI 試験時間は六〇分です
- VII 問題は九ページで一問です

問題 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作物の関係上、本文については、ホームページ上の公開および印刷物での配布は行っておりません。

〔宇佐美誠・児玉聡・井上彰・松元雅和『正義論——ベシックスからフロンティアまで』〕

（法律文化社、2019年）より〕

〔問〕

本文を参考として、あなたが仮に死刑存続論の立場に立つとして、死刑廃止論の立場から予想される批判と、その批判に対する反論を検討しなさい。（800字以内）